

# 『時事直言』 No.1688 2024年8月19日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] [info@chokugen.com](mailto:info@chokugen.com)

[X(旧 twitter)] [t\\_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t\\_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)



時事評論家 増田俊男

## 知らず知らずに日本は 180 度変わろうとしている

憲法第 9 条無視の三法改訂(自衛隊に敵地先制攻撃能力を与える)、自衛隊の憲法第 9 条明記、米軍の沖縄及び日本からの撤退が決まろうとしている。

アメリカはオバマ政権(バイデン現大統領は副大統領)以来「アメリカは最早世界の警察官ではない」と宣言している。

オバマ政権の次のトランプ政権の指針は「アメリカファースト」で日本など同盟国や欧州 NATO 連合は「二の次」である。

アメリカは戦後の世界軍事覇権の座から降りることを決めている。

世界の外貨準備率におけるドルは 1990 年 83%であったが、2024 年は 50% を割り、なお下降線をたどっている。

アメリカの世界軍事覇権と同じドル覇権も衰退の一途である。

日本国憲法は 1946 年日本の国会の憲法問題調査会(松本烝治会長)の明治憲法改定草案が GHQ (連合軍総司令)の総司令官マッカーサーに否定された後、GHQ 民生局が一週間で造った日本国憲法草案が国会で承認され後に施行されたのが今日の日本国憲法である。

マッカーサーの回顧録に記されているように、「日本国憲法はアメリカの日本支配を永遠にする為に造られた」のである。

憲法第 9 条「戦争放棄」と「陸海空戦力これを持たず」、「交戦権これを認めず」で日本を無防備、丸裸にすることで米占領軍(講和条約後駐留軍に変名)に日本国の安全を委ねざるを得なくしている。

1951 年 9 月 8 日講和条約締結で GHQ から主権が日本に戻ると同時に日米安保条約が交わされ、日本は米軍に日本の行政官区内の軍事行動の自由を保障した為日本は再び米軍(駐留軍)に軍事支配されることになった。

アメリカ合衆国の第 51 番目の州同様である日米体制に疑問を持ったり、変革を試みた者(田中角栄など)はすべて葬られた。

ところが今度はアメリカの方から進んで「世界の警察官」の座を降りて、アメリカが今まで望まなかった日本を望み始めだしてきた。

今までご法度であった憲法改正、安保改正、自衛隊の軍隊化、さらには日本の核装備に至るまでアメリカの望むところとなってきた。

戦後 83 年ぶりにアメリカの都合で日本はアメリカの一州から独立国になろうとしている。

アメリカの対日指針が変わった為日本は 180 度変わる事になった。

詳しくは「小冊子」Vol.142 を熟読して下さい。

本書で解説していることはすべてこれからの日本の土台なので、大事に保存して、何度も読み返して下さい。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、  
事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。